

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 水野民也

No.14 (1982~1983)

MANKIND IS ONE-
Build Bridges of Friendship
Throughout the World

人類はひとつ
世界中に友情の橋をかけよう
1982~83年度RI会長 向笠広次

第14回例会 昭和57年11月16日(火)晴

◇“奉仕の理想”

◇出席報告

会員 39名 出席 32名
出席率 82.05%

◇前回 11月9日(修正出席率) 100%

make up

秋山君(11/12北), 深見君(11/12岡崎南), 加藤(正)君(11/15中), 黒野君(11/9東京荏原), 松居君(11/13守山), 水野(賀)君(11/13守山), 鈴木君(11/12北), 都築君(11/13守山)

◇ビジター紹介 11名

◇誕生日祝福

松居君(11/25)

◇ニコボックス

松居君(誕生日祝), 菊池君(スピーチをさせて頂きます), 安藤君・石田君・水野(賀)君・成田君(市内合同麻雀会当クラブが優勝しました)

◇松井幹事報告

1. 例会終了後臨時総会を行いますのでそのままお残り下さい。
2. 次週火曜日(11月23日)は法定休日のため休会となります。
3. 11月28日(日)岐阜北RC認証状伝達式に登録された方11時30分より登録受付けで1時より式典が始まりますのでお忘れなくご出席下さい。
4. 11月30日(火)例会終了後定例理事会を行いますので理事・役員の方はお残り下さい。

◇水野(民)会長挨拶

第14回例会のできますことを感謝申し上げます。先日ある本を読んでおりましたところ、外国では、ことにアメリカでは総てのことに God のため、あるいは God に対してとの註釈がついておると書いてありました。神は彼等の精神的な支柱といえますか、心の拠りどころ、つまり国民に共通した精神的な

ックボーンになっていると思います。

私が東RCにいますとき、千種税務署へ若いエリート署長が転任して話を聞きました。その人は東大を出てすぐ警察庁へ入った優秀な人物で、若くして警察署長になりました。丁度その頃東大の学園紛争が起き、自分が紛争解決の指揮をとることになった。狂暴の徒と化した学生は時計台に陣取り、説得しようと働きかける警官や学園当事者に対し、石や丸太や火炎ビンで反抗妨害して止むことがなかった。多くの負傷者も出た。時計台で反抗しているのは同じ日本人であり私の後輩たちである。私には、それら狂暴化した後輩たちを説得せねばならぬ任務と責任がある。如何に言葉巧みに口説いてもこのような状況下では、聞く耳を持たぬであろう。ときには説得という名の非常手段も選ばねばなるまい。また警察として東大に向っているが、それでいいだろうか(学園自治の侵害)。一瞬苦悩のどん底に突き落とされた。この時の私の心情の複雑さは筆舌に尽し難いものがあった。いかに処すべきか、二者択一をすみやかに迫られた心境。その時私は考えた「日本という国は、一体何であろうか?」。

米国では、このような決意をするとき国旗に手をふれて決断(忠誠を誓う)をすることも日本にない。それとも国土の事を考えて肚を決めるべきか、しかし他国の侵略でもあるのならそれもよかろう。また憲法を考えた。しかし、それも国会で改訂することもできるので抛りどころとして薄弱に思えた。一体日本とはなにか、それは国民の大半のものの支持することを決断の根拠と考えればよいのではないか、私はこう考えて、この紛争解決に対処したと話されておりました。

私たちは、毎日を仕事に奉仕にまた過びと平穏な時を過しており、若い署長の話すような真剣につきつめた心境になることがなく暮

しているように思います。やはりエリートとなるような人間は違うと思いました。このようなことは、皆様にも色々なお考えがあると存じますが、若い人生経験の短かいあの署長を、読書の機会に思い出し、ご紹介させていただきご挨拶とさせていただきます。

◆講演

“建設業この道34年”

会員 菊池 昭元 君

興奮と感動のあのチャーターナイトも終り卓話の順番が来ました。話下手な私です、御容赦願って暫時話をさせていただきます。8月3日の会合が当クラブの初会合で、初めて合せる顔、RIとかガバナー等の意味すら知らない私、正直な処とまどいました。例会も14回素晴らしい皆様方と「ヤアー」と言える今日この頃楽しみと自信がつき大変喜んで居ります。チャーターナイトはベテランの水野会長様の適切なる指示とアドバイスを受け、運営委員長の皆様が深夜まで連日真剣に熱のこもった会議の結果が大成功させたのであります。本当に御苦労様でした。裏方の私も準備片付けに只夢中で汗を流し、やあー終わったねと握手をし座り込んだのも感無量でした。さて本日は専門的な事は奥深く沢山ありますので、戦中戦後初期の体験話をさせていただきます。私は志願して海軍に2年程在籍しましたが、末期の昭和20年2月横須賀海兵団で松根油釜建設隊が編成され、私も兵隊25名程引率、埼玉県下の各市町村を巡回し4名1班として農協に宿泊7日間の予定で釜の建設をしました。釜は鉄製堅形の物が支給され地元は1.2m×1.2m×4m水槽用厚3.6cmの杉板循環冷却パイプ用、節を抜いたモソー竹5mもの8本、ジョイントは角材を掘って竹を連結する。釜の中に松根を入れ火を焚くと発生する蒸気が、竹のパイプを通過する間に冷却、末端からタールが出る、特攻隊の飛行機もベニヤ板でしたが、ガソリンも気の遠くなる様な話、之も6月には中止して引揚げました。戦争の負けを感じました。次は戦後復興と駐留軍施設の建設です。資材は配給制でセメントは自治体のマーク入り、鉄板は2~3枚継ぎ合せたコールタール塗り、屋根瓦はセメント瓦等々、土を掘るのはツルハシとスコップ、運搬はモッコ、ノーパンリヤカー、遠方へはトロッコでした。自動車は木炭車、坂道は登らない、タイヤはキャンパスが出たツルツルで雨の日は滑って走れない。積卸しも手で、ところが駐留軍施設工事は特別調達庁からアメリカの材料が支給され、敷地工事には初めて見るブルドーザーを始め大小土木機械、重量物はレッカー車、土砂運搬はダンプカー、吾々1カ月の仕事もたった1日位、そ

の機動力と能率のよさに只々驚くばかりでした。住宅は最近日本の建設省が取入れた2'×4'式で丸太に穴や、ホゾ、楔で継ぐ日本式と違って総て突付け釘、金物止めで珍しい体験をしました。その住宅は150坪位の敷地に真白な1戸建、屋根は赤、緑、青、全面芝張り植栽低く真白な木柵塀、道路はアスファルト舗装、緑と白、屋根の色のコントラストが実に絵になる景勝でした。何を見てもアメリカに勝つと見た人は何を見たのでしょうか。日本の遅れを痛感した次第です。駐留軍施設工事も縮減減少される頃、住宅公団電源開発を始め高度経済成長、列島改造論で国鉄新幹線、有料高速道路、企業の設備投資等、建設ブーム時代が続く、更に超高層ビルへと日本建築に大飛躍の時が参りました。建設業を選んだ満足と希望にもえたのであります。然し良い事は長続きしないもので、オイルショックと共に建設業にもかげりが来ました。加えて最近の建設業には、日照権、眺望権、プライベート侵害、電波障害、ビル風公害、騒音振動公害、更に交通事情等々、昔から「お互い様」と譲り合う、辛抱する事がなくなり、言い得、言わぬ損の時代となりました。基本的人権を守るため当然かも知れませんが、建築をしたら完成する頃には隣の人が話もしてくれなくなるという事も珍しくありません。従って私達は建築技術以上の周辺取りまどめの能力が要求されるのであります。終りに言行は四つのテストに照して、RI会長の“人類はひとつ、友情の橋をかけよう”のテーマに添い、そして当クラブが益々ユニークに発展する事を祈念し、私もそのロータリアンの一人として努力致します。皆様の御指導をお願いして終らせて頂きます。

◆竹内国際奉仕委員長報告

先日尾張第一分区分RC国際奉仕委員長会議に於て、鮎谷バスターガバナーよりお話があり、ロータリーの大きな事業の中で財団寄附は意義ある活動ですが、寄附状況は減少しており当地区から3年後に海外へ派遣する奨学生が7名から5名に減ることになりましたので各クラブにて寄附の増強にご協力願いますようにとの事でしたので、当クラブも是非協力するようお願い申し上げます。(ロータリーレートは1ドル260円です)

◆当クラブ例会変更のお知らせ

12月21日(火)は名古屋東RCと合同で年末会員・家族懇親会の為、20日(月)ホテルナゴヤキャッスルにて17時30分より、12月28日(火)は例会場都合の為、27日(月)愛知厚生年金会館にて12時30分より。

◆次回例会(11月23日)

法定休日の為例会はありません。

◆次々例会(11月30日)

卓話 “雑感”

会員 加藤 保三 君

“わたしとアジア号”

会員 青山 敏郎 君

会合 理事役員会